

地響

子

キヨウ

日本人は何故靴を脱いで生活をするのか。

じめじめとした気候により

靴を脱いで生活することを

余儀なくされた我々の先祖は

いつしか足を通した間隔のうちに

心地良さを発見し、

やがては視覚のみならず、

その心地良さの目的に添うように

地面を利用するに至った。



現代人がカーペットを敷くように

日本人は代々、畳や木材、石を用いて

空間それぞれが求める心地良さを

足裏から伝えてきた。

我々にとってはこの床と足裏、

ないしは手を通して

伝わる物体の精粗や踏み心地、

或いは冷たさや部屋との一体感が

景色に優る心地よさとなる。

足裏から伝わるこの感覚を**地響**と名付けた。

時には靴下やスリッパを脱いで

日本人に備わる美を直に感じ、

再認識してみてはどうだろうか。

そして靴を脱ぐことが湿気から逃げるための行為ではなく

感触を楽しむための行為だと

認識を変えてみてはどうだろうか。

